

SUNSHINE

第30号 2008年 8月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com
 URL http://www.taiyou1991.com/



太陽開発

検索 クリック!!

賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します! オナー

シャーマゾン川口A・B・C棟 川口様



A棟



B棟

山田町にある『シャーマゾン川口』はA・B・Cの3棟あります♪セキスイハウスのハウスメーカー造りで、設備も充実☆(^▽^v)システムキッチン、人気のシャンプードレッサー、室内洗濯機置場、エアコンも完備です☆各部屋に駐車場2台確保出来るので、もう1台欲しいと言うご家族にも嬉しいですね♪来客用の駐車場も完備してあります!!

近くには、中山保育園、中山小学校があり、買い物もあけぼのが近いので便利です♪新婚さんにオススメの物件ですね☆(^ ^)v 広々とした場所で、ゆっくりと生活でき、子供たちは伸びのびと成長できる、そんな物件です♪♪



C棟

2008年北京オリンピック!!!

毎日、暑い日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか? 北京オリンピックが8月8日に開幕し、あっという間に全日程が終わり先日幕を閉じましたが、開会式・閉会式ご覧になられましたか?(^^)連日、日本勢の活躍がTVや新聞で報道されておりましたが、水泳の北島康介選手のオリンピック連覇は感動を覚えましたね♪個人的にはやはり昔打ち込んでいたバドミントンの話題が気になってしょうがなかったです(笑)。今年を通称「オグシオ」の小椋・潮田ペアがかなり話題を呼んでいましたが、日本バドミントン界初の準決勝進出を成し遂げた「スエマエ」(末綱・前田)ペアは頑張っていましたね♪スエマエペアの前田美順選手は鹿児島県霧島市出身で、小学生の頃は私のクラブと一緒に練習したこともありまして。昔から負けず嫌いで練習熱心な子でしたから、今回の活躍をTVで拝見しながら「納得」という感じでした。オグシオの潮田選手も九州出身で九州大会や選抜合宿で学生時代から見ていましたので私としては今回のバドミントン女子の活躍はとても元気と活力をもらいました☆私ももっと頑張らなければ・・・(汗)

-勝田-



バドミントン女子 前田・末綱ペア

騎射場探訪

弊社がお世話になっている「騎射場」周辺のお店のご紹介第19弾!!

味どころ

勝ちちゃん



騎射場電停から歩いて4分のところにある『勝ちちゃん』☆オープン1976年、どんぐり横丁の名がついた当初からこの場で営業をされており、今年で32年目を迎えます。お店の名はご主人、勝美様のお名前から付けられたそうですよ♪現在奥様とお嬢様のお二人で経営されています。一つひとつの料理に妥協がなく、自分で食べて納得した料理しか出さない!!というこだわりぶり! ☆ご主人の意思を受け継いだお店は、いつも常連客で賑わっています♪♪o(*▽*)o♪

赤松 かすみ様(奥様) ゆかり様(お嬢様)

お二人の作る手料理は絶品です☆ (●^0^●)ノ



あれ?!メニュー表は...?!

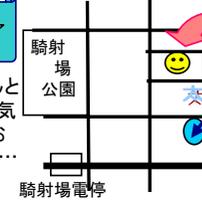


メニュー表を探された方もいはず☆こちらのお店は仕入れの関係で固定メニューはなく、黒板に手書きでその日の新鮮な料理を提供して下さいます♪

☆おすすめ料理☆



『勝ちちゃん』の料理は、なんととっても「上品」!! ☆大人な気分で料理を楽しめます♪お刺身、おつまみ、揚げもの... どれをとっても美味☆



味どころ 勝ちちゃん
 鹿児島市荒田2丁目46-12
 TEL099-259-0556
 営業 18:00~0:00
 定休日 日曜日(月曜日)

今月の一冊 其の29

LOVE&FREE

放浪しちゃえば?

南極から北極まで気の向くまま数十カ国を旅して歩いた、約2年間の世界一周冒険旅行の記録。



たかはし あゆむ 高橋 歩



Except for what's really important, we should throw away everything else. 本当に大切なもの以外、すべて捨ててしまえばいいのに。

1972年東京生まれ。23歳のとき、自伝を出す為に「サンクチュアリ出版」を設立。数々のヒット作をプロデュース。自伝の『毎日が冒険』もベストセラーに。現在は、本や雑誌を創るファクトリー「A-Works」、世界中にカフェ・ゲストハウスなどを展開する「PLAY EARTH」、沖縄で自給自足のアイランドビレッジを運営する「アイランドプロジェクト」、創った作品を世界中で販売する会社「OnePeaceBooks」の4社の代表として、2児の父として、世界中気ままに漂流している。

毎日こう暑いと、仕事も読書もちょっとやる気が失せますよね。2006年の8月号でも、同じような書き出しで高橋歩氏の作品を紹介しました。世界中を放浪して歩いている彼の作品は、夏になると読みたいくなります。世界旅行はおろか、国内旅行ですら、時間的にも経済的にもままならない身では、せめて本の中で世界を飛び回ります。北京オリンピック観戦で、皆さんの心も世界に向いているところではないでしょうか? ついでに、高橋氏の作品を手にして、世界中を放浪しちゃえば!?

お気に入りの頁より抜粋